

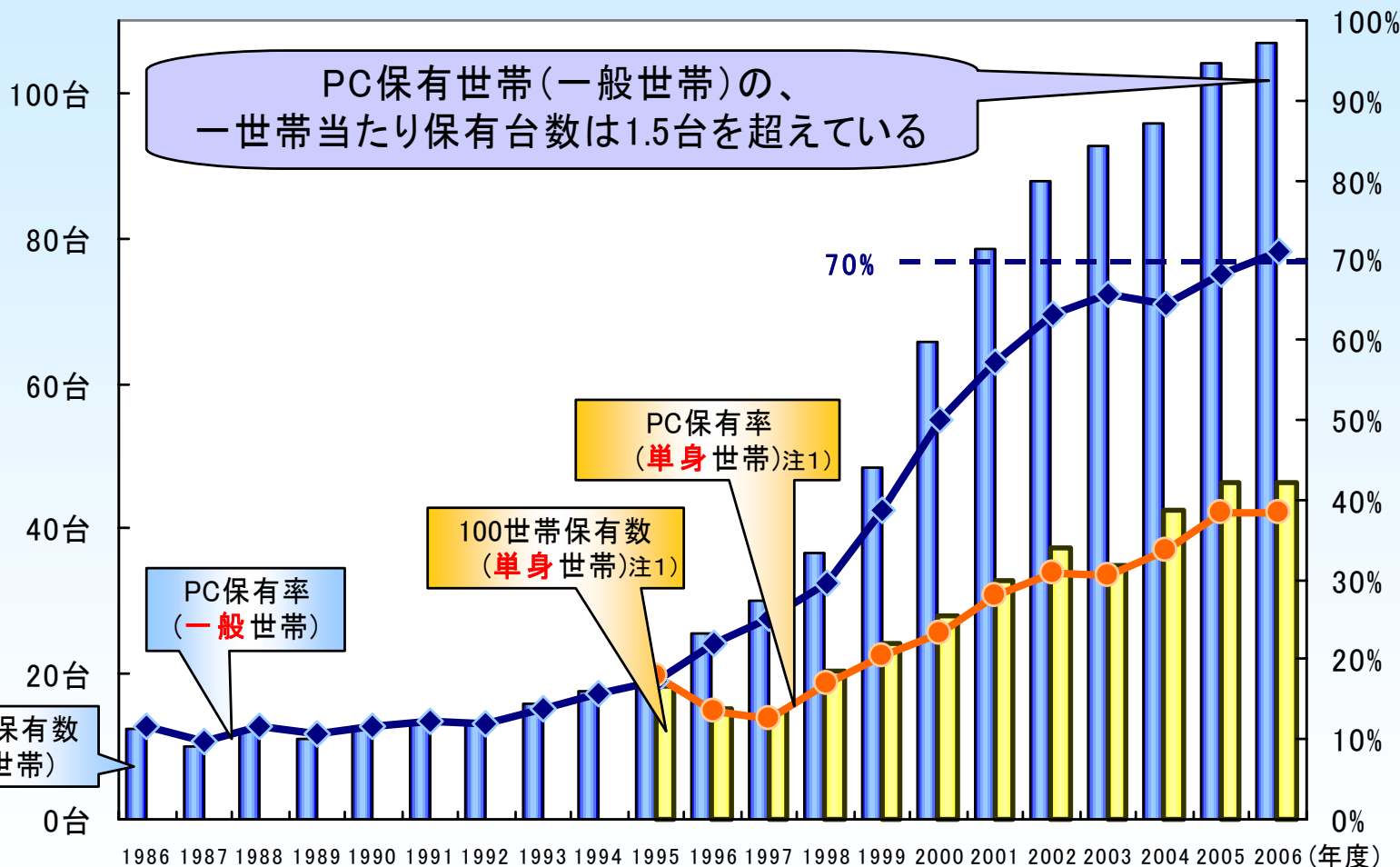
# フィルタリングの普及啓発に向けた取組み状況 (パソコン)

平成19年11月26日

社団法人 電子情報技術産業協会  
パーソナルコンピュータ事業委員会  
フィルタリング普及啓発WG

# 1. 個人市場におけるパソコンの普及状況

パソコンの世帯普及率は70%を超えた。



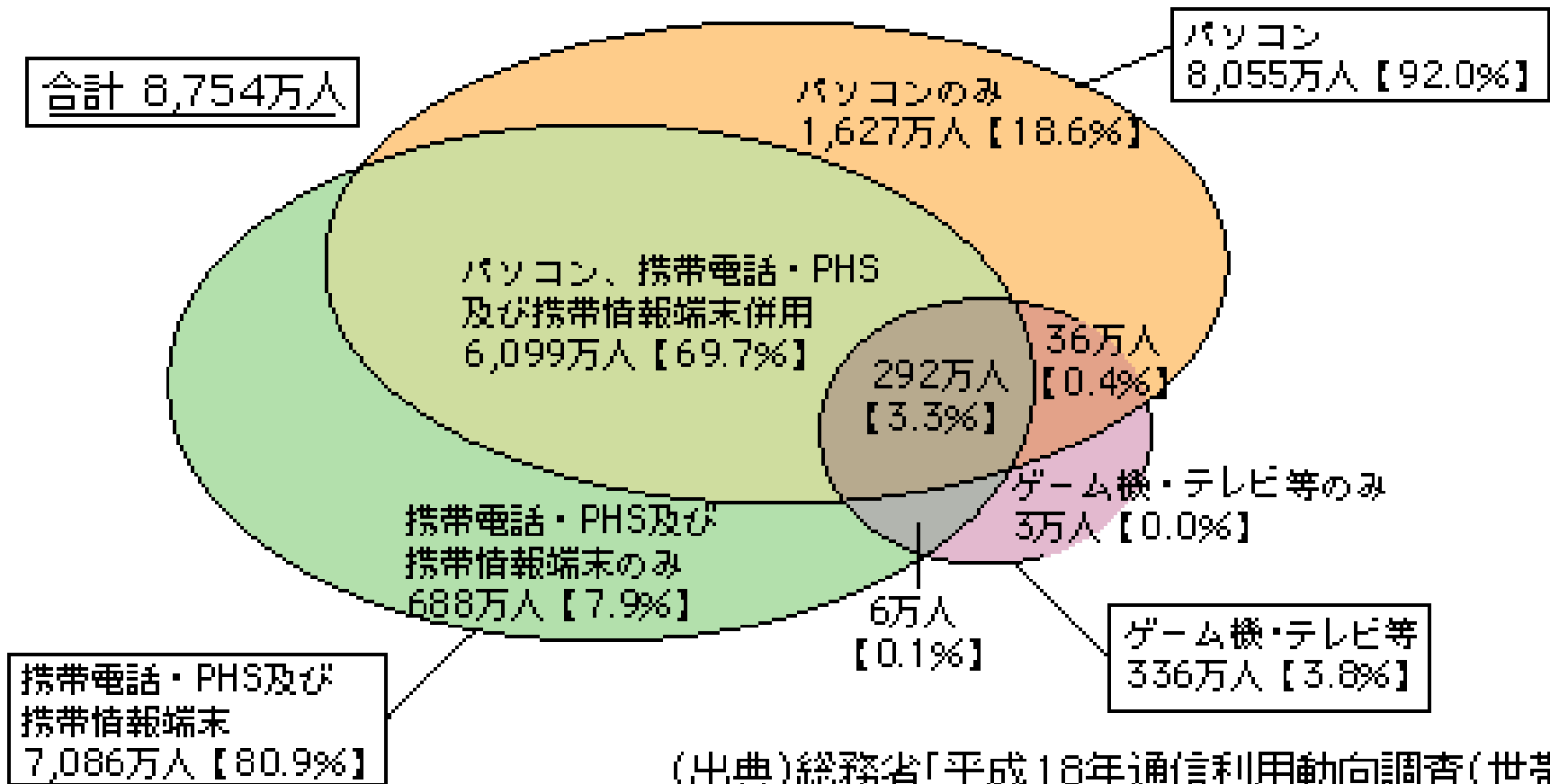
注1)「単身世帯」調査開始は1995年度('96年3月)

(出典:内閣府) 注2)

注2)「消費動向調査」結果から転用。本調査は年度末に実施されるため、例えば'06年度実績は'07年3月現在の実績を示す

## 2. インターネット利用状況

パソコンからのインターネット利用者は8,055万人



総務省「情報通信白書平成19年版 HTML版」より

# 3. フィルタリング普及啓発に向けた アクションプラン

- 2006年3月17日 (社)電子情報技術産業協会発表内容 -

- ① ユーザ向け啓発資料「パソコンサポートとつきあう方法」へのフィルタリングに関する情報追記
  - ・消費者相談機関との情報交換会の実施
  - ・パソコン販売に関わる業界等への理解と協力の依頼
- ② 各メーカーWebにフィルタリングに関する情報掲載
  - ・ユーザサポート部門での主旨ご説明
- ③ 製品同梱マニュアル等での記載充実など、積極的な情報提供

# 4. ユーザ向け啓発資料への情報掲載

<http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html>





## 青少年がおられる家庭の皆様へ ～ 重要なお知らせとお願い

科学技術の進歩によって私たちの生活は確かに豊かになっています。しかしながら、一方ではさまざまな社会問題も生じています。

たとえば、自動車には交通事故という危険な側面があります。しかし、私たちは自動車の利用を禁止することなく、むしろ交通規則や安全施設を整備し、安全装置(シートベルトやエアバッグ)を開発することで、安心して自動車を利用できる環境を構築しようとしています。

パソコンも同じです。インターネットの発展によって、世界中の人と容易にメールのやりとりをしたり、個人や企業が開設しているインターネット上のサイトを活用したりすることによって、必要ときに必要とする情報を瞬時に検索することが可能となっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害情報という負の側面があります。特に青少年にとって、下記のようなインターネット上のサイトは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると考えられています。

- アダルトサイト(ポルノ画像や風俗情報)
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

アダルトサイトが青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするためのIT技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングの技術を活用することで、情報を受け取る側で有害なインターネットのサイトを表示させないようにすることが可能です。

以下にご紹介するインターネットのサイトは、フィルタリングに関する概念や有用性を解説した非常に有益なサイトです。ご参考にいただき、青少年がおられるご家庭では、ご自宅のパソコンにフィルタリングの機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をご検討されることを強くお勧めします。

---

### 【ご参考にいただきたいフィルタリングに関する有用なインターネット・サイト】

#### 1. 財団法人インターネット協会

フィルタリングのしくみやフィルタリングの仕方を簡便に説明したサイトです。インターネット利用のルールについてもリンクがあります。

フィルタリングソフトのしくみ

<http://www.iajapan.org/rating/filtering2003.html>

フィルタリングしてみよう

<http://www.iajapan.org/rating/filtering2004.html>

# 5. パソコンにおけるアクションプラン2007

- 2007年6月1日 (社)電子情報技術産業協会発表内容 -

## 【2007年度中に下記取組を推進】

### ■ パソコン購入・導入時の普及啓発

① フィルタリング機能をサポートしたソフトウェアのバンドル、プレインストール

② パソコンセットアップ時に、確実にユーザの目に触れる形での情報提供(マニュアル、画面表示)

### ■ パソコンを利用中のユーザへの普及啓発

各パソコンメーカーより、登録ユーザ(約400万ユーザ)に対し、メールマガジン形式で情報発信(2007年9月第一回実施済み。)



## 6. マニュアル、画面での情報提供記載例

### 【記載例1】

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス制限について

フィルタリングは、有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術です。

フィルタリングは、100%万全ではありませんが、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。このパソコンは、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして、「AAAAAAA」を添付しています。特に青少年がおられるご家庭では、「AAAAAAA」をインストールすることをお勧めします。

### 【記載例2】

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス制限について

フィルタリングは、有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術です。

このパソコンは、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして、「AAAAAAA」を添付しています。特に青少年がおられるご家庭では、「AAAAAAA」をインストールすることをお勧めします。

# 7. メールマガジンの例

## ■□ 1. 今月の特集

### ◆ 知っていますか？フィルタリング

インターネットの発達によって、必要なときに必要とする情報を瞬時に手に入れることができるようになった反面、インターネット上には、ポルノ画像や暴力画像、他人に対する心ない言葉が記された掲示板など、子どもには見せたくない有害なサイト（ホームページ）も多数公開されています。

これらのサイトが子どもにとっていかに有害であっても、表現の自由の見地から、他人のサイトの公開をむやみに止めさせることはできません。

そんな有害なインターネット上のサイトを子どもに見せないようにするための技術が、「フィルタリング」なのです！

（中略）

『お子様を有害なホームページから守ろう！』

⇒ <http://prius.hitachi.co.jp/support/beginner/faq/700054/700054.html>

# 8. Webでの情報公開の例

『ウチの子は大丈夫』と思いませんか？

## お子様を有害なホームページから守ろう！

インターネットは、近年、会社のみでなく一般家庭にも急速に発展・普及し、世界中の人々と容易にメールをやり取りしたり、企業や個人で公開している様々なインターネット上のサイト（ページ）を見ることができるようになりました。

便利な情報が数多く公開されている反面、違法な情報や有害情報といったものと一緒にインターネット上に公開されているのも事実です。

ここでは、そのような有害サイトや、有害サイトを見せないようにするための技術「フィルタリング」について説明します。

- インターネットの長所
- インターネットに潜む危険性（有害サイト）
- 有害なサイトを見せないようにする機能（フィルタリング）
- フィルタリングを利用するには？

### インターネットの長所

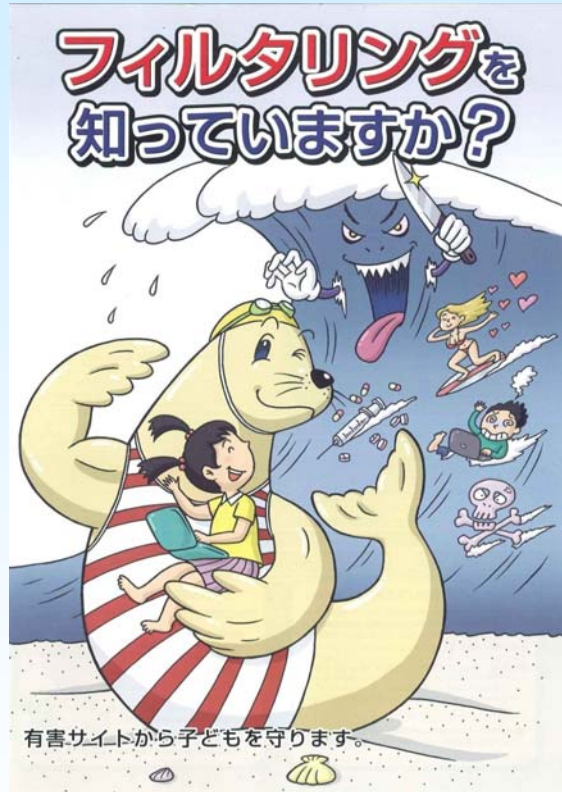
インターネットを使うと、いつでも、どこでも、世界中から知りたい情報をその場で瞬時に探したり、色々な商品を購入したりすることができます。インターネットは私たちの生活を豊かにし、個人のライフスタイルの可能性を広げてくれます。



# 9. その他の取組み

## (1) CEATEC2007でのパンフレット配布

■「体感！ デジタル放送わくわく生活館 (NHK・JEITA)」で配布



制作：フィルタリング連絡協議会  
URL : <http://www.iajapan.org/filtering>

## (2) 上半期出荷実績記者発表時のトピックスとして 取組み紹介

# 10. 今後の対応

## ■ 各社取り組み状況のフォローアップ継続実施

- ・ マニュアル等での対応状況の確認
- ・ バンドル/プレインストール状況
- ・ メールマガジン発行推進状況

⇒ 進捗状況の確認と合わせ、各社への取組み再徹底